

第2回新潟市産業振興センター指定管理者申請者評価会議 議事録

日 時：令和5年10月10日（火） 午前9時30分～

会 場：新潟市役所ふるまち庁舎4階 402会議室

評価委員：阿部委員、山口委員、佐野委員、武田委員

事務局：商業振興課長、同課係長、他1名

傍聴者：3名

発言者	内 容
開 会	
事務局	進行について事務局より説明
山口委員	産振のロゴマーク作成について、事務局としてはどう考えていますか。
事務局	今後市側と協議する形になるかと思いますが、ロゴ制作の可能性はあると考えています。
山口委員	一般的に指定管理施設を管理する際に、いわゆるロゴマークであるとか、タグラインであるとか、そのあたりは積極的に作っていきましょうみたいな流れはありますか。
事務局	指定管理期間が5年というところもありますので、その持続性も含めて検討させていただければと思います。
公益財団法人新潟市開発公社 プレゼンテーション（省略）	
公益財団法人新潟市開発公社 質疑応答	
武田委員	広報活動について、提案書の中ではホームページ・SNS・外部連携のご提案がありましたが、具体的にどういうターゲットに対してどんな風に活動を行っていくのかということが1点。2点目が、稼働率の目標80%であります。この稼働率の計算式について、土日は埋まっているのはわかりますが、平日はかなり空いている場合が多いと思うんですが、その80%以上になった計算式を教えてください。3点目として、資料内の人件費部分。給与が1,600万、手当等が800万、法定福利費が430万、この支出の部分で、給与はともかくとして、手当法定福利費は、これは職員4名の経費支出なのか、具体的な内容を確認したい。以上3点についてお願いしたい。
申請者	具体的な広報活動といたしましては、自主事業に関するものですし、それから通常のホールでなくて、会議室の利用について重点的に稼働率を上げようと思っています。会議室の利用ですと、まず会議室があるということを知らない方がたくさんいらっしゃいますので、会議室があるということ、それから会議室を使えますということを知りたい。施設を利用されている方もまだ（会議室を利用できることを）知らない方がいっぱいいらっしゃいますので、その方たちにまずお話を直接するという。それから、内容によっては学校に訪問して、施設をアピールしていくといったように、いろんなところに働きかけを直接行いたい。自分たちの足で動き、働きかけを行って訪問し広報することを重点的に考えておりますので、当然今のIT推進とか、SNS発信については、必要な部分だと思います。ホームページのあるべき姿についてもそうだと思いますけれども、それだけでは足りないところを、私達職員、産業振興センターだけでなく、開発公社全体として、施設を盛り上げていくために、職員が自らいろんなところに出向いて、広報アピールをするというのを重点的に考えておりますので、今回提案する内容プラス私達職員が実際に広報活動を行うことがメインになります。

武田委員	<p>特に私が聞きたかったのは SNS と、あとホームページと、どちらがどのような形になるのか、今の時代の流れの中で、ホームページだけでは非常に不足だなという認識を持って具体的にどのような形でやるのかなと。</p>
申請者	<p>SNS についてはこれから開設しますので、まず施設の案内について発信しようと考えています。それからホームページの充実についても、今後新しく改修しようと思っております。</p> <p>稼働率については、利用者が一人でも、一組でもいらっしゃれば（その日は）100%稼働していることになります。</p>
武田委員	<p>たとえば個別の部屋の稼働率とか、イベントホールの稼働率等、具体的な資料はありますか。</p>
申請者	<p>展示ホールの稼働率は資料として添付しておりますが、会議室等小さい部屋については資料として添付しておりません。</p> <p>人件費に関してですが、手当が職員 4 名分と、法定福利費に関しては臨時職員の 1 名分もプラスされて 5 名分のものを総額で提示させていただいております。</p>
武田委員	<p>結構新潟の標準にしては、高給与・高賃金ですね。</p>
申請者	<p>人件費はそんなに高くはないですが、働いている職員の平均年齢が高いので、それで少し高く見えているのかと思います。</p>
阿部委員	<p>2 点質問です。1 点目、サービス向上に向けた取り組みに関して、出展する人は事前にケータリングを用意すると思いますが、来場者の方に向けての食事提供はどのように考えていますか。</p> <p>2 点目、同じくサービス向上に向けた取り組みですが、外部連携について、なにか考えているのであれば、その計画について教えていただきたい。提案書の中には、コンベンション協会さんと外部連携と書いてありますが、その辺についても教えていただきたい。</p>
申請者	<p>来場者の方への食事提供ですが、現在考えているのは、軽食の自動販売機の設置、その他希望があれば主催者へ弁当の手配の提案や、イベントに合わせたケータリング等の出店です。あとは、主催者が用意する食事以外で被らないように、例えばキッチンカー等と呼ぶことは、主催者やケータリング会社とも相談しておりますので、今後イベントに合わせて、また来場する方に合わせて考えております。まだ少し計画が練られていなかったため、提案書の方には詳しく記載いたしませんでしたが、すぐに実行できるようでしたら、今年度から実施したいと考えています。</p> <p>あわせて外部連携についてですが、私達産業振興センターの特性が、近隣に複数の施設が立地していることですので、枠の範囲を超えてこれらの施設の皆さんと連携して、何かイベントできないかなと模索している最中です。対象としては、子どもたち・若者向け。現在連携会議をしておりますが、その会議の中で駐車場の混雑状況だけでなく、近隣施設一緒になってイベントを開催しようということで、話を進めていきたいと思っております。そこは今後、隣接する施設の皆さんと相談の上で実施したいと思っております。</p>
阿部委員	<p>そうすると施設連携を考えており、機能連携といったところはまだあまり考えていないということですか。例えば、朱鷺メッセはいろんな業種業界の人たちで一つの固まりを作っていて、そこでいろんな意見交換をしたり、アイデアを出したりしているので、（申請者が提案する外部連携についても）そういうイメージかと思っていました。</p>
申請者	<p>私達は、イベント設営業者と主催者を繋ぐ仲介役のような役割です。その連携対応については、現在センターの改修工事が終わって少しずつ設備についても変わっております</p>

	<p>ので、この説明も含めて、そういう会議を定期的に行って改善部分をお互いに話し合いながら、主催者の実際の意見を設営業者からも聞いておりますので、その意見を私達も取り入れながら連携活動を行いたいと考えております。</p>
山口委員	<p>3点ほどお聞かせください。はじめに別の委員からも質問があった広報について、現在SNSはやってないということで良いですか。</p>
申請者	<p>今はやっておりません。ただ、準備はしております、インスタグラムはすぐに開設したいと考えています。</p>
山口委員	<p>宣伝といってもいろいろあると思いますが、インスタとかX、そのあたりの活用について、具体的にどのような情報を発信するのか教えてください。例えばホームページだと施設の情報だろうし、SNSだと時期に応じた即時性のある内容になるのでしょうか。インスタグラムはどちらかと言うとターゲットが若者になると思いますが、どのように使い分けるのでしょうか。</p>
申請者	<p>インスタグラムは、イベント情報や自主事業関係のPRをさせていただきたいと思えます。インスタグラムを使う若者に合うように、ホールを利用したイベント情報の発信や、あとは駐車場について、やはりイベントが大きくなると混雑しますので、すぐわかる駐車場の混雑情報の発信をインスタグラムでできたらと考えております。(インスタグラムで発信することで) 駐車場を含めた周辺の混雑状況を緩和できることもあるかと思えますので、情報発信を行いたいと考えています。</p>
山口委員	<p>あと、稼働率が80%と高いなと思ったのと、この稼働率の考え方について先ほどおっしゃっていたことを考えると、まだまだ使える部屋はあるのではないかなと思います。そういった考え方の中で、リピーターは毎年同時期に利用されていると思いますが、新規で利用される方へのセールス活動となると、SNS以外のアナログ部分へのアプローチについてどう考えているか気になりました。</p>
申請者	<p>限られている人数の中で、産業振興センターとしては、テルサや天寿園の職員もおりますので、(開発公社の) 産業勤労推進課、総務課、それから体育施設の職員全部合わせてセールス活動できる時には、職員自ら赴いて活動できると思えます。ただ実際には、回数的には多くできるかどうかわかりませんが、できる限りセールスできるよう足を運びたいと思えます。</p>
山口委員	<p>最後1点ですが、自主事業について、大変にいろいろと今後を考えてくださっていてありがとうございます。自主財源というところからすると、自動販売機の設置手数料がメインとなっているのでしょうか。</p>
申請者	<p>今メインとなっているのは自動販売機の売上手数料になりますが、新しい自主事業の財源として、参加料や出展料を考えております。ワークショップであれば一出展者あたりいくらというような形を想定しています。フィットネスの体験型のような1回いくらで参加料をいただく形。その参加料についても、あまり利用される方の負担にならないようリーズナブルな料金設定を考えておりますので、そちらの方からの収入もあります。</p>
佐野委員	<p>3点質問させてください。1点目、資料24ページの地元産業活性化という部分のお客様の地域別割合(展示ホール)について、県外23%とありますが、この内容について簡単で結構ですので、どういった形で開催されたものなのか、どのあたりからお越しになっているか教えてください。2点目、5月に地震があった際の対応について、どのぐらいの地震の規模でどういった形で避難誘導されたのでしょうか。3点目、音楽サークルを呼んで利用促進するとありましたが、音響設備について、どのような形になるのか教えてください。</p>

	い。
申請者	<p>県外から来られるお客様は、イベント物産をして全国を渡り歩いて、その中で毎年新潟に来られて、その日が終わったらまた全国を回られているような方々が多いです。</p> <p>2点目の地震に関してですが、トミカ博が開催されていた5月5日に発生しました。震度3程度でしたが、現場の状況確認、それから主催者にどのような対応をするか打ち合わせをすぐ行い、私達も対応しつつ、主催者の方もアナウンスや状況確認をしていただき、避難をするところまではいきませんでした。一旦お客様には落ち着いてしゃがんでいただき、揺れが収まるまで待っていただきました。地震が収まり、どこにも支障がないということを確認し、イベントを再開しました。けが人・避難者も出ず、子どもたちが楽しみながら、遊んでいただき、大変よかったです。</p> <p>3点目、音楽サークル関係ですが、会議室にも音響設備はございまして、ホールイベントよりは少し機能的に小さめになりますが、大きなバンドとかそういうものでなければ、開催は可能です。会議室の音響でできる範囲内の音楽サークル。利用者の方でもしホールの機材を使ってやりたいということであれば、そこはまたホールでの開催も考えたり、どちらでもできる形でやろうと思います。規模的にはホールは大きなもの。会議室はギターをアンプにつなぐ機材はありますので、こちらで用意は難しいですが、使われる方にお持ちいただいて利用してもらおう形になります。</p>
事務局	ヒアリング終了
さんしんにぎわい創出委員会 プレゼンテーション（省略）	
さんしんにぎわい創出委員会 質疑応答	
阿部委員	<p>3点ほど質問させてください。1点目、収支計画の中の、運営人件費についていただいた資料ですと、金額が2,400万になっておりますが、専任スタッフが9名になっており、1名あたり300万ぐらいかかると。果たして高いか安いかというところがありますが、回せるのかなというあたりが疑問です。</p> <p>2点目、いろんな組織が絡みますよということで、プレゼン資料内のサービス向上の具体的な取り組み中に、新潟市産「新」^{さん しん こうじょう}向上委員会について、いろんな事業団体が書いてありますが、実際にこれは裏取りをして、合意形成ができているのかというところを教えてください。</p> <p>3点目、今の産業振興センターは稼働率80%くらいで、ほとんどが市内業者のリピーターですが、皆さんの提案だと外から引っ張ってくる・自分たちでイベントをやりますとなると、今までのリピーターである新潟市の企業さんへしわ寄せが来るんじゃないかなと。その辺の調整について何かお考えがあるのでしょうか。</p>
申請者	<p>まず収支計画にございます運営人件費については、専任スタッフというのが常駐のスタッフではないため、スポット的な形で対応するという事で算出しております。本部スタッフも同様の考え方であります。常駐スタッフをできるだけ少なくして、スポット対応することで、人件費の削減に努めております。また運営人件費と設備人件費が分かれておりまして、設備人件費も同様に、設備スポット業務で、こちらも常駐をせずに金額換算しておりますので、少ない人数の中、有効的な時間を使って業務を行うということで人件費削減に努めております。</p>
阿部委員	常駐する方は何名ですか。
申請者	<p>常駐は3名です。</p> <p>もう一つご質問いただきました新潟市産「新」向上委員会ですが、こちらは今の時点で</p>

	<p>裏取りはしてございません。私どもが管理している施設では、新潟のメディアや地元タレントさん等と連携させていただいておりますが、これと同様の考え方で、ご協力いただきたいという依頼を出して進めていくというところで現時点では、記載をさせていただいた団体イコール決定している訳ではございません。ただ我々が取り組んでいる中でこういった記載したところにご協力いただけるだろうと考えております。</p> <p>稼働率に関しては、もちろん産業振興センターでリピーターが非常に多いというのも把握しておりますので、まずリピーター優先、過去使っていたところを優先したいと考えています。その中でどうしても空いてしまうタイミングであったり、あるいは冬場のイベントが少なくなるとか、そういったスポット的に空いてしまうところで、そこを我々の自主事業であったり、会場利用として誘致を行うというところで、リピーター様が使えなくなるようなことはまずないということを前提に取り組んでいきます。</p>
武田委員	<p>今の質問と関連で、かなり外向けに新規顧客を獲得していくということで、リピーター顧客との整合性について回答してもらいましたが、その新規顧客を獲得するために SNS を使ったり、ネットワークを使ったり、プロモーション費用、広告宣伝費がかかるなど私の感覚では感じるのですが、この収支計算書を見ると、少しよくわからないのですが、どのような形でその費用を捻出していくのでしょうか。</p>
申請者	<p>まず経費の部分としては、ホームページ・SNS の制作費を運営管理費として金額を算出しております。</p>
武田委員	<p>これは自主事業というわけではなく、指定管理会計、ここに全て入っているということですね。</p>
申請者	<p>そうです。ただ自主事業を行うときの単発的なイベントで、例えばテレビ CM を流したいという場合に関しては、自主事業の会計になりますので、こちらは自主事業会計の方で広告宣伝費を出してまいります。</p>
武田委員	<p>それにしても費用が安いという気がします。広告宣伝にあたってはかなりコスト的に年間 50 万とか、費用的に抑えられるのかなというそのあたりの計算がどうなのかなという疑問が生じているので、回答いただきたいです。あと、外注費を一部内製化するとか、それによってコストダウンする場合と、逆にコストアップする可能性もあるので、このあたりについて、具体的にどのような形でコストダウンを図っていくのかというところをお聞かせください。</p> <p>加えて管理運営の部分について、今まで実績があるので管理運営を任せてくださいということでほとんどプレゼンテーションされなかったのですが、具体的にこの施設を管理運営、御社でどのような管理運営の仕方、リスクマネジメント等運営体制の部分をもう少し教えていただけますでしょうか。</p>
申請者	<p>ホームページや SNS の部分に関しては、ホームページの制作について初年度金額を取っておりますが、2 年目からは金額をかなり安く設定させていただいております。制作に関しては、構成団体で、自社で制作ができる環境がございますので、自社制作ということで金額が安くなります。</p>
武田委員	<p>SNS 運営や広告掲出はランニングコストが結構かかるのではないのでしょうか。</p>
申請者	<p>SNS 広告について、一般的にはずっと出し続けるわけではないので、別途かかる経費というのは基本的にかけず SNS を自社の方で回して、自社の中で一貫して情報発信をそういう場であげていきたいです。</p> <p>内製化の部分ですが、事業計画書にも記載した通り、経費を下げやすいものと、外注し</p>

	た方が安くなるケースも当然あります。
武田委員	その部分だけで結構ですので、外注から内製化してコストを下げるということについて具体的に教えてください。
申請者	消防設備点検及び清掃等の環境衛生業務に関して、資料にありますとおり代表団体は対応する資格を持った者が多数おりますので、自社で賄うことでコストダウンが図れます。電気工事に関しても同様で、有資格者が複数名おりますのである程度の工事であれば自社で対応が可能で、コストを下げられるものと考えております。
武田委員	どのくらいの予算の削減を考えておりますか。
申請者	約5%~10%程度です。
佐野委員	今、別の施設で指定管理をなさっている実績があつての今回のプレゼンテーションだと思いますが、その施設でなさっていた自主事業を、今度は産業振興センターで行うという解釈でよろしいでしょうか。それとも何かまた新たに別なものを行うということでしょうか。
申請者	考え方としては2つございまして、(ご質問のあつた)前者後者どちらもです。実際会場利用についてお話させていただいたスケールアップしていくところを我々としても、現在管理している施設の規模感で行うということで、今まで検討を行ってまいりました。ただ、今までより規模が大きく、来場者も増えてくると、どうしても会場のスペースが足りなくなってくる。そういったものを大きくできるようなイベントに成長させていくということも含めて、産業振興センターの方で自主事業を展開するという考え方がおります。ただやはりイベントを組んでいく中で、まだ少し会場の規模を大きくするには早いなということであれば、継続して現在管理している施設の方でイベントを行っていくということになります。この二つをうまく活用しながら新潟市産業振興センターに貢献・寄与できる形を取って、全体の施設利用を上げるのもそうですし、地域の産業振興に貢献することも踏まえて進めていきたいと思っております。
佐野委員	お話できる範囲で結構ですので、現在管理している施設でなさっていたイベントの収支がどのくらいになるのかお話をいただきたい。収支計画書を拝見すると、自主イベントの収入も含んだ形での支出となっておりますので、こちらの管理している施設イベントでの収入がよろしくないということになると、赤字になってしまうという計画書のつくりになっておりますので、教えていただきたいです。
申請者	自主事業会計の考え方で収入と支出が最終的にイコール0となることになっておりまして、令和3年度、4年度ともに、決算上赤字になることはなく自主事業会計も予定通り0になっています。ただ一部、新潟県の補助金を活用したイベントもございましたので、それを加味するとマイナスになるかと思いますが、それを含んだ形でイコール0となっています。最終的には赤字決算にならず、良い形で終えることができました。
山口委員	質問ですが、応募団体が2社共同、JVのような形になると思いますが、この2団体の具体的な役割分担についてお聞かせ願いたい。
申請者	代表団体は、まず代表としての全体のトータルコーディネートを行うということが1つ。あとは業務実績が多数ありますので、設備管理。あとは効果的な広報、この3つを担っております。構成団体に関しては、イベントの管理運営というところを中心に行い、利用者様に対する会場利用のご案内はもちろん、イベントを進めていく中でのサポートをメインに行いたいと考えております。
山口委員	そうすると、産振センター常駐職員というのは、どちらかというと構成団体が主体にな

	<p>りつつ、様々な専門技術者については代表団体が対応するということですね。あと細かい話で、(産振センターは)メインホール以外の会議室が非常に多いのですが、会議室の活用というのは何かしら考えていますか。</p>
申請者	<p>イベント関係だけでも、〇〇セミナーといったものも多いと思います。その中でメディアを活用したいというところで、いろんな企業様がいろいろな会社を使ってよくセミナーを行っておりますので、そういったところに(施設を)紹介できるかなということ、その他、会議室の使い方で、メインホールで大きな利用があった際に、もちろん会場に空きがあれば、我々のワークショップイベントというコンテンツの追加を行い、施設を一体管理したいです。</p>
山口委員	<p>産振センターは見本市会場として利用されている中で、料金も割と安いし、施設内まで車が入って行けるといった諸々のメリットが多いですが、県外の方を誘致するときに、交通アクセスの問題が必ず言われるんですよ。そのあたりについてどのように考えますか。</p>
申請者	<p>まず駐車場は、当然数に限りがございますので、それ以外でとなると、やはりバスの利用になるのかなと。バスに関して、我々が管理している施設では、そういったバスの増便はないのですが、それ以外のイベントで、新潟交通様と連携してバスを増便したということも、我々の中では実績がございますので、そういったことを活用して、大規模イベント時に来場者が多く、バスでお送りする必要があるという判断が必要になった場合、(増便について)考えていきたいと思います。</p>
事務局	<p>ヒアリング終了</p>